

# ぎが1だより



※撮影時のみマスクを外しています。

羽生市<sup>ハナチ</sup>二十歳の集い（1月8日 対象者556人）

## 令和4年12月定例会

- 正副議長改選
- 決議を可決
- 一般質問に10人が登壇

羽生市議会のホームページを開設しています。

羽生市議会

検索 

## 目次

- 正副議長のあいさつ・・・2 P
- 市政に対する一般質問・・・3 P～8 P
- 議案に対する質疑・・・8 P～9 P
- 決議・・・10 P
- 審議案件と結果・・・11 P
- 各常任委員会の経過・・・12 P

# 議長・副議長など議会人事決まる



副議長 増田 敏雄



議長 斉藤 隆

## 正副議長の就任あいさつ

令和4年12月定例市議会は、11月28日から12月14日までの17日間の会期で行われました。  
今定例会において、島村勉議長、野中一城副議長が辞職した  
ことにより正副議長の改選が行われ、議長に斉藤隆議員、副議  
長に増田敏雄議員が当選いたしました。

市民の皆さまには、常日頃  
から、市政運営に対しまして、  
深いご理解とご協力を賜り、  
厚くお礼申しあげます。

私たちは、令和4年12月定  
例会におきまして、議員各位  
のご推挙により、議長・副議  
長の要職を務めることになり  
ました。

このことは、私たちにとり  
まして、身に余る光栄である  
とともに、あらためてその使  
命の大きさと責任の重さを痛  
感しております。

さて、羽生市では、将来都  
市像である「誰もが幸せを感  
じる、住み続けたいまち 羽  
生」実現のため、土地区画整  
理地内の企業誘致や県企業局  
を介した産業団地の整備など、  
新たなまちづくりが着実に進  
んでおります。

しかしながら、コロナ禍が  
長期化し、更にはロシアのウ  
クライナへの侵攻の影響など  
による物価高騰等、市民の皆  
さまの日常生活や経済活動に  
は多大な影響が及んでおりま  
す。地方自治体を取り巻く環  
境も厳しさを増し、取り組ま  
なければならぬ課題が数多  
くあります。

議会は、二元代表制の一翼  
を担う機関として、その機能  
と役割を発揮しなければなり  
ません。市議会としても、議  
員一丸となり、市民の皆さま  
や行政と連携・協力し、羽生  
市のさらなる発展に取り組ん  
でまいります。

今後とも、市民の皆さまに  
は、より一層のご指導、ご協  
力を心からお願ひ申し上げま  
して、就任のごあいさつとい  
たします。

### 議会運営委員会におい て正副委員長が改選

・委員長

柳沢 暁 議員

・副委員長

野中 一城 議員

### 総務文教委員会におい て副委員長が改選

・副委員長

江原 博之 議員

### 埼玉県都市ポートレ ス企業団議会議員に 斉藤隆議長が当選

埼玉県都市ポートレス企  
業団議会議員である島村勉議  
員が、12月14日をもって辞職  
したため、補欠選挙を行い、  
指名推薦により斉藤隆議長が  
同企業団議会議員に当選しま  
した。

### 峯寄貴生議員が議員辞職

令和5年2月1日付けを  
もって、峯寄貴生議員から  
議長あてに辞職願が提出さ  
れました。

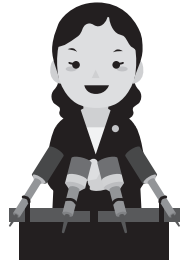
そのため、地方自治法第  
百二十六条の規定に基づき、  
同日付けをもって、議長が  
辞職を許可いたしました。



# 市政に 対する

# 一般質問

## そこが… 聞きたい



一般質問は、提出議案以外で市政全般にわたる事務の執行状況や将来に向かっての方針などを執行部に問うものです。今期定例会では、12月5日から7日の3日間にわたり10人の議員によって行われました。

主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。  
※QRコードを読み取ると、議会中継がご覧いただけます。

### のりあいタクシーの利用者年齢の 拡大、料金の引き下げを



柳沢 暁 議員

・質問 「利用対象年齢を75歳から引き下げてほしい」との声や「利用料金を引き下げてほしい」などの声がある。そこで、次の点について伺う。

- ① 利用状況について
- ② 利用者年齢の拡大について
- ③ 利用料金の引き下げについて

は、対象者を市民全員とする  
ことになっている。  
③ のりあいタクシーの運行費  
用は、初期投資を除き1年間で約4,200万円、当初予定している利用者数は延べ約4,000人である。運行費用から利用料金を除いた額  
に対して特別交付税が交付

① 11月の1日1台当たりの平均乗車人数は10・4人、最大16人、最小6・4人、乗り合いとなった割合は約24%であった。また、月間413回の運行があったが、定員いっぱいになったのは1回であった。  
② 現在は実証運行期間中であり、対象者を限定して実施している。今後、令和7年度からの本運行の許可を得る際に



実証運行が始まったのりあいタクシー

されるが、市負担分は約2,400万円となる。この負担分を利用者と羽生市で等分に負担した場合1回当たりの利用料金は約3,000円となり、現実性には欠けるものと認識している。一方で、あい・あいバスが1回200円、羽生駅からイオンモール羽生などへ運行している民間事業者のバスが1回150円から200円、市内タクシーの初乗り運賃は620円となっている。のりあいタクシーは市内全域を運行エリアとするとともに、ドア・ツー・ドア方式としており、サービス性が高いことなど様々な要件を参酌し、利用料金については、利用しやすい現実性のある金額であり、かつ釣銭も簡単である500円としたものである。本来であればさらに高額の料金を設定したいところであり、料金引き下げの見直しは困難であると考えている。

#### その他の質問

- ・羽生市一般廃棄物処理基本計画、生ごみ処理機購入費補助制度の改善・拡充を
- ・羽生市小規模契約希望者登録制度の状況、積極的な活用を

議会の詳細は  
市議会ホームページ  
をどうぞ

「羽生市ぎかいだより」は、毎年4回開催される定例会ごと

に発行しています。詳細にわたって内容をお知りになりたい方は、羽生市議会ホームページをご覧ください。  
羽生市議会ホームページでは、市議会の概要をはじめ、定例会や臨時会の本会議で行われた一般質問や議案質疑の内容、政務活動費の収支報告一覧などを公開しております。また、議会のインターネット中継もご覧いただけますので、是非ご利用ください。

### 羽生市議会の ライブ中継と録画配信 をしています。

羽生市議会

検索

こちらのQRコードからも  
アクセスできます。



# 3歳児健康診査に おける視力検査は

西山 文由 議員



・質問 3歳児健診は、目の異常を早期に発見して適切な治療につなげる大変重要な機会である。そこで、次の点について伺う。

- ①視力検査の内容について
- ②検査結果と異常があった場合の対応や支援について
- ③就学前の視力検査の重要性

の周知について

・答弁(市民福祉部長)

①本市では、平成元年度から「オートレフ」という屈折度測定器を導入し、弱視の早期発見、早期治療に努めてきた。しかし、令和2年度からは、感染症対策として自宅での視力検査に切り替えて実施

# のりあいタクシー 事業は



斉藤 万紀子 議員

・質問 事業は、高齢者や障がい者などの交通弱者の移動手段の確保と、あい・あいパスの補完を目的としているが、ほとんどの車椅子が利用できない状況にある。そこで、次の点について伺う。

- ①課題とその改善策について
- ②事業の連携について

・答弁(総務部長)

①のりあいタクシーは、乗り合いで利用されることや障害者手帳をお持ちの方は介助者として1名まで同乗でき、介助者は無料とすることなどを総合的に勘案し、車椅子の乗車は遠慮してもらうことになっていた。しかし、車椅子の乗車



のりあいタクシーに乗車する市長

してきた。そこで、両方の検査結果を比較すると、屈折検査機器による検査の方が治療に結びつく子どもの数が多く、検査の精度が高いということが考えられた。そのため、今後は9月補正予算可決後に購入した屈折検査機器「スポットビジョンスクリーナー」を使用し、コロナ禍においても感染症対策を実施しながら精度の高い視力検査を実施していきたいと考えている。

②過去3年間の受診件数は811人、経過観察が90人、



スポットビジョンスクリーナー

精密検査が57人であった。経過観察や精密検査となった子どもについては、健診会場で保健師がリーフレットを用い

て必要性を説明し、特に精密検査の必要がある子どもには眼科受診を勧め、保護者には、その後の結果を市に報告してもらうことにしている。

③健診日には、保護者に対しリーフレットを活用し説明している。また、視力検査ができなかった方に対しては、翌月以降の健診日に視力検査だけでも受診可能としており、できる限りすべての方が視力検査できるよう配慮している。

についての要望があり、できる限り可能な範囲で乗車できるように配慮した。その内容は、車椅子の搭載について、(1)折り畳み可能で乗用車型のトラックに入る(2)本人または

介助者が車椅子の積み込みができること(3)予約状況によっては断ることがあること、以上3点をすべて満たす場合に限り乗車できるとした。このように、車椅子への対応は課題であり、今できる改善策は講じたが、課題が全て解決したとは考えていない。車椅子への対応ができていないことは何とかしなければならぬと考えており、今後は車椅子対応の車両も用意できるように検討を進めていきたい。

②市では、事業の方向性を経

営会議で審議決定し、高齢介護課や社会福祉課とも、運行情要や周知の方法などについて打合せを重ね協議してきた。また、運行内容などを地域公共交通会議で協議し、運行事業者とも適宜打合せなどを行っている。さらには、既にデマンド交通を導入している近隣6市と情報の共有や交換などの連携も図っている。

## その他の質問

・男性職員の育児休業取得を  
・女性の声を反映する仕組み作りを

# 北部幹線の進捗状況や 問題点は

田口 聡 議員



・質問 北部幹線開通後の道路状況について問題点はないか、次の点について伺う。

①羽生実業高校北西部交差点六差路の完成後の状況

②稲子交差点の問題点

・答弁(まちづくり部長)

①県道羽生外野栗橋線及び都市計画道路北部幹線の施工主

体である埼玉県行田県土整備事務所は、これまで、羽生市や埼玉県警察と交差点改良等の計画について協議を重ねてきた。当該箇所は、羽生実業高校北西部の十字路付近に北部幹線が交わることで6方向の交差となる。対応としては、現在の交差点から西へ60メー

トルの付近に、北部幹線と市道2092号線(通称・文化通り)の十字路交差点を新たに設けることになっている。十字路交差点の北部幹線側には右折レーンが設置され、市道には安全に右折ができるように配慮されている。信号機及び横断歩道については、設置に向けて検討が進められている。また、北側から文化通りに直交する市道2430号線と市道2060号線は分離されることになる。それぞれ北部幹線、文化通りにT字路



整備が進む北部幹線

として交差する線形となることで、安全な通行は確保されている。

②稲子交差点の形状については、行田県土整備事務所と埼玉

玉県警察と羽生市で協議を重ね決定した。以前の形状と異なることから、違和感を覚える方もいると思うが、視認性はよくなり、安全性はかなり向上したと考えている。既に完成し、安全な交差点として機能していることから、近い将来において再度の交差点の改良工事は無いものと考えている。

その他の質問  
・未舗装道路の応急措置は  
・児童・生徒が全国大会等出場した際の支援等は

# 終活支援は

江原 博之 議員



・質問 一人暮らしや身寄りのない高齢者にとっては、自身自身の終焉について大きな不安を抱えている。そこで、次の点について伺う。

①エンディングプラン・サポート事業について

②エンディングノートについて

て

・答弁(市民福祉部長)

①エンディングプラン・サポート事業は、単身で身寄りのない低所得の高齢者からの葬儀や納骨等に関する相談を受け、協力葬祭事業者と生前契約を締結できるように支援する事業のことである。本市では、厚生労働省の示す手引

きに従い対応しているが、このような相談事は今後増加すると考えられる。そのため、本事業については、現在行なっている相談の中でどのような形で取り組めるのか、先

人生会議とは、もしも  
のときのために、自分が  
望む医療やケアについて  
前もって考え、家族等や  
医療・ケアチームと練り  
返し話し合い、共有する  
取り組みのこと

進自治体の取り組みを参考にしながら地域包括支援センターなど関係機関と連携、情報共有を図り、協議、検討していきたい。

②エンディングノートは、自分の老後や亡くなった時に備え、自分の意志や希望、情報などを書き留めておくためのノートである。本市独自のノートは配布していないが、同じような事業として、在宅医療・介護連携推進事業の中で、ACP(アドバンス・ケア・プランニング(通称・人

生会議)について、羽生市医師会と共同し、普及啓発を行なっている。人生会議は、エンディングノートで言うところの医療行為に関する部分である。自分事として取り入れやすい人生会議がエンディングノートにどのようなつながられるか、どのように高齢者へ普及させるのか、段階を踏みながら、先進自治体の取り組みを参考にしながら、引き続き関係機関と協議、検討していきたいと考えている。



# 児童虐待防止対策は

野中一城 議員



## ・質問

全国的に児童相談所が対応した児童虐待相談件数が近年増加している。そこで、羽生市の児童虐待の対応について、次の点を伺う。

- ①羽生市の児童虐待の相談件数及び相談事例について
- ②相談経路の状況について
- ③羽生市での相談の支援体制

の状況・連携について

- ④今後の児童虐待の防止対策強化に向けた施策について
- ⑤子ども家庭庁開設に向けた羽生市の組織体制整備などの取り組みについて

## ・答弁 (市民福祉部長)

①令和3年度の相談件数は、延べ99件、うち、心理的虐待

42件、身体的虐待31件、ネグ

レクト25件、その他1件であった。夫婦げんか等で警察に通報され、その場にいた子どもに対する心理的虐待、子どもの面倒を見ることが出来ないネグレクト等の内容であった。

②令和3年度では、警察から42件、学校から11件、近隣知人から7件、家族から7件、児童相談所から6件となっている。

③子ども家庭総合支援拠点や子育て世代包括支援センター

等に様々な相談が寄せられており、適切な部署につないで支援を行なっている。また、関係機関と情報共有し、家庭の状況等を把握した上で支援を行い、児童虐待の防止に努めている。



④子育て相談の支援体制を強化するため、令和4年度から子育て支援課内に子ども家庭総合支援拠点を設置し、児童虐待の早期発見、早期対応に取り組んでいる。

⑤現在の子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターの機能を一本化したことも家庭センターの設置が努力義務化されたことから、羽生市においても検討を進めているところである。

## その他の質問

・中学校の部活動は

# 新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応は



増田敏雄 議員

## ・質問

①今年の冬の新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行想定に対して、どのような対策で臨むのか、伺う。

②同時流行を想定した政府方針では、高齢者や小学生以下の子どもなどに限定して受診を呼びかけることを決定した。

中学生から64歳の基礎疾患のない人には、新型コロナウイルスの抗体キットで判断し、自宅療養することとすることである。

そこで、市の対応について伺う。

## ・答弁 (市民福祉部長)

①国が新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時

流行に備えた対応に関するリーフレットを作成し、埼玉県から各市町村に周知の協力依頼があり、また、同じく検



インフルエンザ  
新型コロナ  
同時流行



査キット等の事前購入促進に関し、市民周知の依頼があった。これを受け、羽生市では、市のホームページと広報「はにゆう」に同時流行への備えについて、抗原検査キットと解熱鎮痛剤の購入などの呼びかけをし、周知を図ったところである。

②市としては、国及び県から発出される様々な感染対策等の情報共有を迅速に行うとともに、羽生市医師会や加須保健所と連携を図りながら、感染状況に応じた新型コロナウイルス

の感染対策を迅速に講じていきたいと考えている。新型コロナウイルス感染拡大を防ぐためには、マスクの着用、手洗い、3密回避、そしてワクチン接種の基本的な感染対策が有効となるため、改めて周知していきたいと考えている。

## その他の質問

・飼犬のマイクログリップ装着費用の補助の可能性は  
・妊婦のために救急車を産科車として併用する可能性は

# 更なる行政改革へ向けて EBPMの手法導入は

齊藤 隆議員  
さいとう たかし



・質問 次の点を伺う。

① Evidence based Policy making の略であり「証拠に基づき政策立案」を意味している。そこで、EBPMの認識について伺う。

② 市民本位の政策・証拠に基づいた政策立案・政策実現が

必要になる。そこで、EBPMへの取り組みについて伺う。

・答弁(企画財務部長)

① 国では、政策の企画を見聞した事例や限られた経験に頼るものではなく、政策目的を明確化した上で合理的根拠、エビデンスに基づくものとすることと定義しているが、羽

# これからの観光政策は

峯崎 貴生議員  
みねざき たかお



・質問 新型コロナウイルス感染症の第8波が懸念されているが、世の中は徐々にウィズコロナ社会に向かって動いており、今後、人の流動性は高まっていくだろう。市長の公約には、観光政策が掲げられており、村君、三田ヶ谷地区を中心に市内の観光資源を

ネットワーク化していくとある。羽生市には風土の魅力伝える観光が適していると考えられる。そして、政策の実現には、方向性を示す計画と創意工夫が必要である。今後どのように推進していくのか、見解を伺う。

・答弁(経済環境部長)



整備が進む羽生チャレンジファーム

今後の観光事業については、社会情勢に鑑みながらDX化をはじめとした急速な変化に対応できるよう、現在見直しを進めている羽生市総合振興

生市においては、この定義に沿ったEBPMの手法はまだ取り入れられていない。EBPMの認識については、国の定義のとおり、実態に沿った効果的な政策立案や予算編成につなげるもので、限りある財源や資源の中で政策の有効性を高めるだけでなく、市民への説明責任を果たす上でも重要であると認識している。

② EBPMの実施については、証拠やデータなどエビデンスの収集、成果分析までの様々な手順を系統だった形でなく

ても実践できることから始め、少しでもEBPMのあるべき姿に近づけていきたいと考えている。そのため、令和5年



度から、現在の新規事業導入審査や行政評価など、政策形成過程にEBPMの考え方を組み込んでいく予定である。具体的には、新規事業の導入審査と事務事業評価に際して、政策課題とその現状に対し、目的から手段までの道筋を明確に図示化したもの、いわゆるロジックモデルを採用し、新規の政策判断や事業の見直しに活用していきたいと考えている。

・その他の質問

障がい児の教育支援は

計画後期基本計画で定める目標に向かって観光基本計画を策定していきたい。なお、利根川の風景や各種体験等の観光資源を活用し、羽生らしさを伝え、地域が元気になる観光を生み出す計画として、令和5年度以降に策定する予定である。

また、創意工夫として、市内の観光事業における回遊性を高めるため、次の3つのネットワーク化を進めていく予定である。①各地区における観光資源のネットワーク化

② ネットワーク化した各地区を結びつけること、そして、市外からの流入人口が多いショッピングセンターがある地区と結びつける市内広範囲でのネットワーク化③ 行田市や加須市などの観光地を結びつける近隣市を含めたネットワーク化

これらの関係性を構築することにより、協力してPRや事業展開を図ることで効果的な魅力発信ができ、多くの来訪者に周遊していただけるものと考えている。

# 学びあい夢プロジェクトの活動は

丑久保 恒行 議員



・質問 市内には様々な教育機関、社会福祉施設等があり、大きな輪をつくり情報交換とネットワークを整備することが子育てに良いと考える。これらの人的・物的な活用を通して飛躍できればとの期待もあり、学びあい夢プロジェクトの発足につながったと考えており、次の点について伺う。

- ①学びあい夢プロジェクトの目的について
- ②活動内容と成果について
- ③今後の協議会の在り方について

・答弁 (学校教育部長)

- ①羽生市内の短期大学、県立学校、小・中学校、幼稚園、保育園、児童福祉施設や関係教育機関が連携して教育交流を推進し、学びを広げ、健やかな成長を図ることを目的としている。これらがネットワークを構築し、地域での一貫教育が児童・生徒への支援につながると考え、平成22年

に設立された。

- ②大学教授による小中学校への巡回訪問事業、出前授業、職場体験、スポーツ交流、演奏会などを実施してきた。成果としては、関係教育機関のつながりが強まり、連携が取りやすくなったことで、様々な事業の開催が可能となった。また、特別支援教育巡回支援事業などの実施により、小・中学校教員の指導力向上につながる事ができた。
- ③今後は、新たに市の子育て支援課を協議会の委員に加え、なおかつ新たに市の健康づく



事業の一環として実施した「子ども大学はにゅう」

り推進課との連携を図ること  
で、教育、福祉、医療等の関係機関の交流を推進し、幼児・児童・生徒・学生の学びを広げ、健やかな成長を図っていけるようにしたいと考え

ている。

その他の質問

・家庭用太陽光パネル・蓄電池設置の促進を

## 議案に対する質疑

「議案に対する質疑」は、議会に上程された議案について、質疑を行うことであり、賛否の意思決定をするため議案の提出者に対し説明や考えを求めるものです。

今期定例会では、次の議員によって行われました。

- 議案第63号 令和4年度羽生市一般会計補正予算(第8号)

齋藤 隆 議員

生活応援商品券配布事業は、物価高騰等の影響を受けている市民の家計を支援し、市内消費の喚起による地域経済の活性化を図るため、市内1世帯につき5,000円の商品券の配布を行うもの。

- ・質疑 事業執行計画について
- ・答弁 (企画財務部長)

令和5年1月1日現在で、住民基本台帳に登録され

ている世帯主を対象に、5,000円分の商品券(500円の10枚綴り)を配布するものである。  
配布は、令和5年3月1日から簡易書留にて郵送したいと考えている。

利用期間は、令和5年3月1日から8月31日までの6か月間とし、利用可能店舗は、現在実施している第14回羽生市プレミアム付商品券取扱店舗を予定している。また、店舗にはステッカーを貼ってもらう予定である。

野中 一城 議員

戸籍総合システム等改修委託料は、国の制度改正に伴う、システム改修に係る費用。

- ・質疑 制度改正の内容について
- ・答弁 (市民福祉部長)

戸籍法の一部改正により、本籍地でしか取得できなかった戸籍謄本などが、令和6年3月から最寄りの自治体で取得が可能となる。また、婚姻や養子縁組などを本籍地以外の自治体で届出する際、各自自治体が戸籍データを参照できるようにするため、戸籍謄本などの添付が不要となる。

- ・質疑 システム改修の内容について
- ・答弁 (市民福祉部長)

最寄りの自治体で戸籍謄本などの取得が可能になる広域交付と、戸籍謄本等の添付が不要になる本籍地以外の市区町村のデータ参照を行うためのシステム改修である。また、システムのセキュリティ強化のため、戸籍端末への生体認証機器の導入等も実施するものである。



江原博之 議員

こども食堂物価高騰対策支援金は、地方創生臨時交付金を活用し、こども食堂の活動を支援するため交付するもの。  
・質疑 支援体制と今後の支援策について

・答弁 (市民福祉部長)

こども食堂を運営している団体は、NPO法人が2団体、一般団体が2団体あり、子育て支援課の窓口にチラシを設置するなど活動の支援を行っている。また、フードパントリー事業を実施している団体には、今年度から5万円を補助している。社会福祉協議会では、こども食堂等を運営している団体に、お米や食材等の物資を随時提供している。

今後は、フードパントリー事業への補助金とあわせて、こども食堂への支援についても検討したいと考えている。

また、ひとり親家庭や生活に困っている家庭への支援、子ども居場所づくりなど、こども食堂の活動の充実と支援の輪を広げていきたいと考えている。

○議案第75号 羽生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

柳沢 暁 議員

地方税法及び埼玉県国民健康保険運営方針等に基づき、税率及び賦課限度額を改正するもの。

・質疑 改正内容について

・答弁 (市民福祉部長)

今回の改正は、所得割と均等割の税率を増やし、資産割と平等割を廃止するものである。また、賦課限度額を引き上げるものである。

・質疑 低所得世帯で増税となる世帯数と金額、その見解について

・答弁 (市民福祉部長)

所得100万円以下の世帯で、増税となる見込みの世帯数は、3,984世帯である。また、増額の平均は年額6,574円である。増額となる見込み世帯において、年間で9期の納期1回あたりの支払額は、平均730円増額となり、生活への影響を抑えられたものと考えている。

○議案第78号 羽生市体育館等の指定管理者の指定について

田口 聡 議員

指定管理者の指定期間満了に伴い、羽生市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例に基づき指定管理者を指定するもの。

・質疑 引き続き指定管理者となる現管理者の課題について

・答弁 (生涯学習部長)

令和2年度より体育館等の指定管理者となっている現管理者は、他自治体体育館等の管理運営実績や民間企業としてのノウハウを活用し、感染防止対策や様々な事業を実施し、評価されている。

野球場や自由広場の水はけの件や施設の不具合などは、指定管理者から報告を受け、今後の課題として検討しているものである。小規模修繕については指定管理者の責任において修繕を行うなど迅速な対応をしている。

その他の質疑

・議案第77号

○議案第80号 羽生市三田ヶ谷農林公園の指定管理者の指定について

齊藤 万紀子 議員

指定管理者制度の導入に伴い、羽生市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例に基づき指定管理者を指定するもの。

・質疑 選定の経緯について

・答弁 (経済環境部長)

令和4年4月より市広報誌及びホームページで指定管理者の募集を行い、現地説明会(参加者8者)を実施後、3者から申請があつた。指定管理者選定委員会にて資格要件等の第1次審査及びプレゼンテーションの第2次審査を行なった。審査項目は管理実績など12項目で、施設運営に関する業務と自主事業計画は重点項目とした。審査の結果、3者の中で最も得点の高い株式会社アグリメディアを指定管理者候補者とするのが妥当であるとし、指定したものである。

その他の質疑

・議案第63号・第67号・第68号・第70号

羽生市三田ヶ谷農林公園の指定管理者決まる

羽生市三田ヶ谷農林公園(キヤッセ羽生)について、集客力や利用者サービスの向上を図るため、次の団体を公募により指定管理者に選定することになりました。

▽指定管理者となる団体  
株式会社アグリメディア

▽指定の期間(5年間)  
令和5年4月1日から  
令和10年3月31日まで



三田ヶ谷農林公園 (キヤッセ羽生)

決議を可決

「市の審議会等における多様な人材の登用促進に関する決議」が全会一致で可決されました。

市の審議会等における多様な人材の登用促進に関する決議

羽生市が将来にわたり活力ある持続可能なまちづくりを実現するためには、市の政策・方針決定過程において、多様な価値観を重視した議論を行い、新たな発想を取り入れていく必要がある。

特に女性の活躍に期待が高まっている現代においては、男女共同参画社会の実現に向けて、市が掲げる第3次男女共同参画基本計画の推進指標の目標達成はもとより、女性の意見が政策や方針決定に反映される組織体制となるよう早期の改善を望むものである。市の審議会等は、市政への市民参画の第一歩であり、市民の意見を的確に反映できる場であることから、委員の選任にあたっては、肩書や経験

年数などにとらわれることなく、女性の登用に配慮しつつ、若者、障がい者、高齢者など、幅広い人材の登用に努めることを強く求める。以上、決議する。

傍聴について

本会議は、市役所5階で受付をしていたら、どなたでも傍聴（60席）できます。また、常任委員会（午前9時30分開会）の傍聴（6席）も実施しておりますので、開催日等をご確認のうえ、開会前にお越しください。

なお、傍聴する場合は、次の点にご留意ください。  
・マスクの着用、咳エチケットの励行  
・手洗い、手指の消毒の徹底  
・他の傍聴者と2メートル程度の間隔を空けての着席  
詳しくは、市議会ホームページをご覧ください  
会事務局にお問い合わせください。

☎048(561)1121  
(内線) 513

3月定例市議会の日程

3月定例市議会は、左記のような日程で予定されています。

月日	曜日	時刻	内容
2月21日	火	午前9時30分	本会議初日（開会）
2月22日	水		
2月27日	月		議案調査等のため休会
2月28日	火	午前9時30分	本会議（議案に対する質疑）
3月1日	水	午前9時30分	本会議（市政に対する一般質問）
3月2日	木	午前9時30分	本会議（市政に対する一般質問）
3月3日	金	午前9時30分	本会議（市政に対する一般質問）
3月4日	土		
3月5日	日		休日のため休会
3月6日	月	午前9時30分	各常任委員会
3月7日	火	午前9時30分	各常任委員会
3月8日	水	午前9時30分	各常任委員会
3月9日	木	午前9時30分	各常任委員会
3月10日	金		
3月15日	水		事務整理等のため休会
3月16日	木	午前9時30分	本会議最終日（閉会）

※3月定例市議会の日程は、2月17日（金）に開催予定の議会運営委員会で決まりますので、変更になる場合もあります。

ポートレース戸田

羽生市を含む県内15市で構成する都市ポートレース企業団の収益金の一部は、毎年構成各市に交付され、市民の皆様の暮らしに役立っています。令和3年度は、5千万円の交付金がありました。

開催日

- 2月15日（水）～18日（土）WINWINパーク戸田開設6周年記念・第33回東京スポーツ杯（戸田）
- 2月21日（火）～26日（日）GⅢ大宮アルディージャカップ（戸田）
- 3月2日（木）～5日（日）本命バトル祭・ニッカオン・コム杯（戸田）
- 3月12日（日）～15日（水）eプリントサービスク杯（都市）
- 3月22日（水）～26日（日）第11回シニアVSヤング・タカフジ オレンジカップ（都市）
- 3月29日（水）～31日（金）サンスポZBAT杯（戸田）

会場

- ポートレース戸田（戸田競艇場）
- 都市：埼玉県都市ポートレース企業団主催
- 戸田：戸田競艇企業団主催

◎本場発売等についての詳細は、ポートレース戸田オフィシャルサイト等でご確認ください。



12月定例会 審議案件と結果

●議決結果の公表について

議会改革の一環として、「市民に明確な意思表示をする」という目的のもと、議員自らの考えを分かりやすく市民に示す手段のひとつとして、各議員の表決結果を掲載しています。

公成会…公成 拓政会…拓政 令和会…令和 公明党…公明 日本共産党…共産 無会派…無派

【賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠 除斥：除】

Table with columns for 議案番号, 議案名, and voting members (公成, 拓政, 令和, 公明, 共産, 無派) and a 結果 column.

議員提出議案

Table for 議員提出議案 with 1 row: 議第4号 市の審議会等における多様な人材の登用促進に関する決議

※島村勉議長は表決に加わりません。

市長提出議案

Table for 市長提出議案 with 20 rows (第60号 to 第80号) and a vertical note: 議長は表決に加わりません。

# 各常任委員会の経過

## 総務文教

委員会に付託された案件は、議案9件でした。

議案第78号羽生市体育館等の指定管理者の指定についての審査では、「引き続き候補者は、毎日興業・スポーツフィールド共同事業体であるが、他者と比べて優れていた点や利用者の声について何う。」との質疑に対して「候補者からは、新たに追加したトップアスリート事業の委託について、より具体的に実現性のある提案をいただいた。金額はもとより総合的に勘案した結果、優れていたと考えている。また、指定管理者の導入により、電話での仮予約や夜間受付などができるようになり、利用者から大変喜ばれている。」との答弁がありました。

次に、議案第80号羽生市三

田ヶ谷農林公園の指定管理者の指定についての審査では、「候補者が他者と比べて優れていた点について何う。」との質疑に対して「まずは、物産館の運営にあたり、農業の知識に優れた人材を常駐させることである。また、周辺農地の土壌の物理性などを診断して最適な作付け計画を策定したうえで農業体験用の農作物の栽培管理を行うとしており、多種多様な農業体験ができることを期待している。さらに、目標の設定や取り組みに対し、具体的な手段等が提案されており実現性が感じられた。」との答弁がありました。



審査結果を報告する峯寄委員長

委員会では、これらの審査の結果、付託議案9件はいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

## 都市民生

委員会に付託された案件は、議案7件でした。

議案第63号令和4年度羽生市一般会計補正予算第8号の審査では、土木費において「道路照明灯の電気料高騰による増額補正について、道路照明灯は、電力メーターが付いていないが、どのような請求・支払い形態となっているのか、また、価格交渉や改善策はあるのか、伺いたい。」との質疑に対して、「取り決めや、値上げの協議はなく、東京電力からの請求に基づき支払いをしている。また、改善策として、新電力事業者との契約も検討し、施設の照明をLEDに交換するなどして、電気料を抑える取り組みを検討したい。」との答弁がありました。

次に、議案第75号羽生市国民健康保険税条例の一部を改

正する条例の審査では、「税率・賦課限度額を埼玉県国民健康保険運営方針で示す水準まで引き上げることだが、県内各市町村の改定の状況について、伺いたい。」との質疑に対して、「令和9年度までに各市町村が改定を進めており、2方式化の改定については、県内で20市町村が完了しておらず、羽生市を含め5市町村が令和5年度に2方式に移行する予定である。また、



審査結果を報告する松本委員長

賦課限度額改定については、県内で41市町村が完了しておらず、羽生市を含め31市町村が令和5年度に法定限度額まで引き上げる予定である。」との答弁がありました。

委員会では、これらの審査の結果、付託議案7件はいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

### 12月定例市議会傍聴者数

11月28日	0人
12月5日	0人
6日	15人
7日	9人
14日	2人
計	26人でした。

### 常任委員会傍聴者数

12月8日	1人
計	1人でした。

### 《議会広報委員会》

委員長	斉藤 隆
副委員長	増田 敏雄
委員	柳 沢 暁
委員	峯 寄 貴 生
委員	松 本 敏 夫

### ご意見などを

議会広報委員会まで

☎048(561)1121  
(内線) 513

